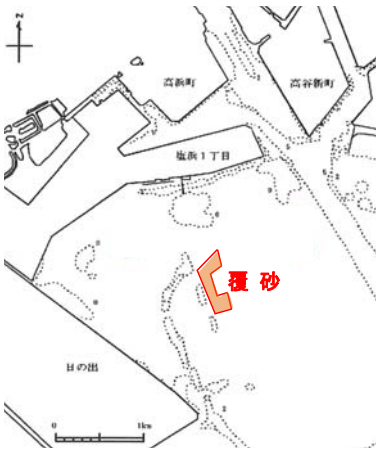


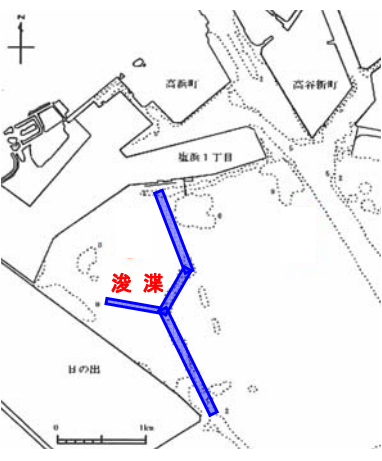

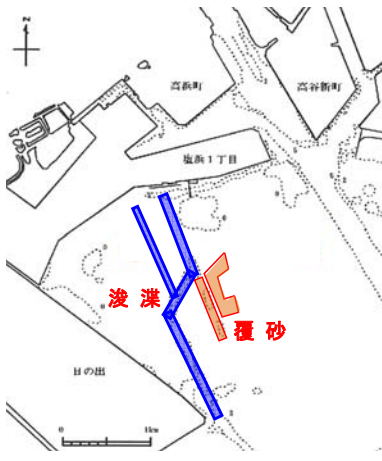


4. 漁場改善策のシミュレーション

4.1 漁場改善策の検討ケース

対策・1 (T1)	対策・2 (T2)	対策・3 (T3)
人工干潟の沖合を覆砂 覆砂面積 110,000m ² × 覆砂厚 0.5m = 55,000m ³	既存の人工滞の浚渫 (幅 50m, 深さ 5m, 延長 2800m)	既存の人工滞の浚渫 + 塩浜方向に滞を開削 (幅 30m, 深さ 5m, 延長 1400m)
		
覆砂	浚渫	浚渫 + 作滞

対策・4 (T4)	対策・5 (T5)	対策・6 (T6)
既存の人工滞の浚渫 + 猫実川方向に滞を開削 (幅 30m, 深さ 5m, 長さ 1000m)	人工干潟の沖合を覆砂 + 人工滞の一部を埋戻し + 既存の人工滞の浚渫 + 猫実川方向に滞を開削	人工干潟の沖合を覆砂 + 人工滞の一部を埋戻し + 既存の人工滞の浚渫 + 塩浜方向に滞を開削
		
浚渫 + 作滞	覆砂 + 浚渫 + 作滞	覆砂 + 浚渫 + 作滞

4. 4 漁場改善策の評価

(1) 改善策の効果と影響のまとめ

漁場改善策 検討項目	対策1 (T1)	対策2 (T2)	対策3 (T3)	対策4 (T4)	対策5 (T5)	対策6 (T6)
	人工干潟の沖合を覆砂	人工干潟の沖合を覆砂	既存の人工潟を浚渫	T2+ 塩浜方向に潟を開削	T2+ 猫実川方向に潟を開削	T1+T4+ 人工潟の一部を埋め戻し
物理環境	流速の累積値	・覆砂海域で流速が増大	・T2と同じ(T2より大) ・日の出地先で流速が微減	・塩浜2丁目の護岸付近で流速が微増 ・日の出地先で流速が減少	・T1及びT4と同じ ・人工潟の埋め戻し海域で流速が増大	・T1及びT3と同じ ・人工潟の埋め戻し海域で流速が増大
	増大面積 ¹⁾	51.8 ha	74.5 ha	47.8 ha	97.2 ha	116.6 ha
物理環境	海水交換	・ほとんど変化はなし	・三番瀬奥部海域で海水交換が増大 (T2, T4より大)	・T2と同じ ・開削した潟への流入量は小さい	・T4と同じ	・T3と同じ (T3より大)
	増大面積 ²⁾	31.5 ha (1.7%)	102.6 ha (5.7%)	61.2 ha (0.5%)	64.2 ha (0.8%)	110.9 ha (6.4%)
周辺物理環境への影響 (水温・塩分)	・ほとんど変化はなし	・海水交換の増大により三番瀬奥部海域で水温・塩分がわずかに上昇	・海水交換の増大により三番瀬奥部海域で水温・塩分がわずかに上昇 (T2, T4より大)	・T2と同じ	・T2と同じ	・T3と同じ
底質や地形等の変化	・覆砂による窪地の解消 ・覆砂による底質の改善 (泥分減少)	・浚渫による既存の人工潟の水深の確保	・T2と同じ ・潟の新設(塩浜方向)	・T2と同じ ・潟の新設(猫実川方向)	・T1及びT4と同じ ・人工潟の一部を埋め戻し	・T1及びT3と同じ ・人工潟の一部を埋め戻し
ノリ養殖業に対する効果	・アオサの滞留域の解消による漁場環境の改善	・海水交換の増大による漁場環境の改善	・海水交換の増大による漁場環境の改善 (T2, T4より大)	・T2と同じ	・T1及びT4と同じ	・T1及びT3と同じ (T1, T3より大)
アサリ漁業に対する効果	・覆砂による漁場環境の改善 ・アオサの滞留域の解消による漁場環境の改善 ・青潮等の被害の軽減	・海水交換の増大による漁場環境の改善	・海水交換の増大による漁場環境の改善 (T2, T4より大)	・T2と同じ	・T1及びT4と同じ ・人工潟の埋め戻しによる漁場の拡大	・T1及びT3と同じ (T1, T3より大) ・人工潟の埋め戻しによる漁場の拡大
総合評価						

1) 流速累積値の増大面積：累積値が1 m/s以上増加した面積

2) 海水交換の増大面積：海水交換率が5%以上増加した面積, ()内は海水交換率の増大率%